

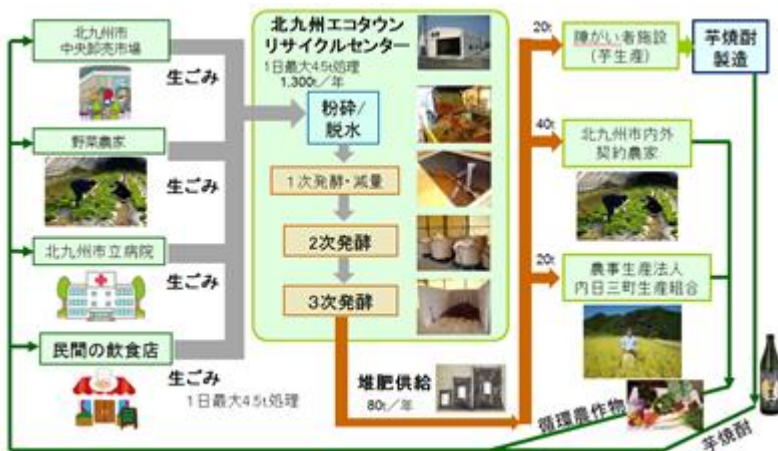
マレーシアの廃棄物問題に北九州の中小企業が挑む！

～ 北九州エコタウンで培った堆肥化技術を活用 ～

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において楽しい株式会社(福岡県北九州市、松尾康志代表取締役)が提案する「食品系廃棄物の堆肥化およびリサイクルループの構築に係る案件化調査」(マレーシア)を採択しました。

調査対象地であるキャメロンハイランドは、標高 1,500m を超える高原地帯で自然が残る観光地であるとともに冷涼な気候を活かした野菜や果物の栽培が盛んな地域である一方、野菜残渣は廃棄物中の水分が多いため焼却処理ができず遠方の廃棄物処分場までごみを運ばざるを得ない状況にあるなど、深刻な環境問題となっています。

本調査では、同社がこれまで北九州エコタウンで培った技術を活用し、生ごみ堆肥化装置で食品系廃棄物の1次発酵処理を行った後、1次発酵物を取り出し2次・3次発酵処理を行い良質な堆肥を生成します。その出来上がった堆肥を利用した有機野菜の生産・販売を行うことで食品リサイクルループの構築を目指し、食品系廃棄物の減量やリサイクルにつなげます。



北九州エコタウン食品廃棄物地域循環圏リサイクルセンターのループ図

北九州エコタウンリサイクルセンターの様子

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注) 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を行う。2012 年度から実施されており、2017 年度第 1 回分は今年 3 月に公示を行い、36 件が採択。

参考:(プレスリリース)案件化調査 2017 年度第 1 回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001yndld-att/investigation_170308_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州国際センター 市民参加協力課 担当: 浅井
 TEL : 093-671-8204 e-mail : Asai.Hiroshi@jica.go.jp

